

## 26.5 号外 SEO 対策

お客様は商品検索からやってきます。「もうそんなこと知ってるよ」という声が聞こえてきそうですが・・・  
本日は SEO 対策についての、楽天編ですので、そう落胆しないで下さい。

楽天でポイントを使って買い物をしたいと思ったお客様は、

- ・キーワードを入れて検索する
- ・カテゴリーを次々にたどって行って検索していく

のいずれかの方法で表示された商品を数点見て、その中から希望に合うものを選びます。

では、基本的な検索であるキーワード検索について考えてみましょう。

楽天では、次の項目がメインの検索対象となっています。

- ・商品の「商品名」「キャッチコピー」
- ・商品登録時の 3 枚の画像の「名称 (ALT)」

上記内容が楽天での検索時に引っ掛かって来る部分です。もうお忘れの方も、覚えていらっしゃる方も重要な部分ですので、今日以降は必ずこちらを意識してください。

上記点から、各季節ごとにキャッチコピーを変えることが重要という事がお分かりでしょうか？

夏前には「夏」「酷暑」「海」「BBQ」「川」「行楽」「休」「暑」、冬の前には「クリスマス」「Xmass」「X'mass」「年末」「冬」「寒」などを盛り込むことで検索順位が上がってくるという事です。

逆引きのような話になりますが、商品登録を 150 円や 250 円等の格安でどちらかの業者に依頼された方がおりますでしょうか？

## 26.5 号外 SEO 対策

弊社では 1000 円/個あたりからの料金をいただいております。

基本情報のみ登録でボリュームディスカウントの最安でも 500 円前後が精いっぱいです。

しかしながら、格安でやる業者が、どうしてそんなに安いのか不思議に思っていました・・・

以下は先日 驚愕した例です。

ある店舗様からの相談で何気なく話題に上がったことから、調べたところ発覚したことがあります。安い商品登録をしていた“ある業者”の登録方法なのですが、

「全商品ディレクトリ ID」の設定が、めちゃくちゃでした。

これは、楽天市場のトップからのカテゴリ検索で辿っていても、その商品が正しい場所に表示されないという事です。試しに見ていただきたいのですが、例えば、楽天市場のトップから、カテゴリ選択で進んでみてください。

レディースファッションで何かおしゃれアイテムが無いかな？と探す場合

トップ → レディースファッション → その他

と、お客様は進んでいくと思います。しかし、こちらに男物が混ざって表示されることがあります。商品登録の際に店主がうっかり 1 点間違えて登録したのならわかりますが、あるお店の商品が大量に入っている場合があります。その店舗が業者依頼した商品登録の「全商品ディレクトリ ID」が適当に登録されてしまったのでは？という事が考えられます。事実、弊社のお客様の数店舗がこのような状態になっておりました。まだ良心の呵責が残っている格安業者は「その他」に入れているようですが、それでも「その商品を買いたい人が、その商品を探しようがない」ので、結局こんな商品登録はあってはなりません。しかし、実際にこういうことがあるのです。安かろう悪かろうのお手本のような事例でした。

このディレクトリ ID での検索は、SEO 対策の超重要部分ですが、本当に大変な作業の為、それを適当にやっている業者がいるという事を知ってください。全てがそうではありませんが、何かを業者依頼された場合には、必ず作業の結果を確認することをお勧めいたします。

弊社では楽天全体の商品何万点の中から、おおよそこの辺りというところから割り出して 1 商品ずつ確実に楽天の詳細カテゴリに入るように手作業で登録しています。そのため、弊社のお見積り金額は高いと言われますが、かなりの作業時間がかかり「商品登録」は赤字の部類に入る仕事です。

もしも、弊社では無く他業者に商品登録依頼をしている方は、その商品が無作為に商品登録欄から調べてみてください。雑貨なのに食品カテゴリに登録されているなんてこともあるので注意が必要です。

これは致命的ですので、ぜひ一度調べておいてください。

## 26.5 号外 SEO 対策

※上記内容は 格安業者のすべてに当てはまることではございません。一部の業者達がやっていたことが、弊社に相談された数店の店舗様から発覚した事実を基に書いたものです。入口商品として格安の大赤字で商品登録を行っている真面目な業者もおります。ご了承ください。

### ●楽天での裏ワザ?●

これは現在活躍中の店舗からの”ここだけ情報”で仕入れたネタです

- 【 】 こちらの大カッコを、商品名欄で使用する。
- 【 】 内の単語が検索対象の強調となっており、検索時に上位表示される。

ということなのですが・・・、こればかりは私にも確証が持てません。

しかし、情報の入手元は、食品のショップオブザイヤー常連なので、かなり信憑性は高いと思います。弊社で、この店舗のリニューアル制作時に店舗の担当者がうっかり漏らした情報でして、話した直後にその担当さんは「しまった！」という顔をして口数が少なくなりました。

「さっきのは冗談なので・・・」と書いていましたが、その店舗はリニューアルの際に、必ず商品名に【 】を入れて、その中に入れる単語を指定してきました。

信じるも信じないもあなた次第ですが、本当だったら儲けものなのでぜひ真似をしてみてください。お時間がありましたら、ショップオブザイヤーの店舗を調べてみてください。びっくりするぐらい【 】を多用しています。

※こちらは 2014 年 2 月の記事になります。